授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態	授業場所
助産管理論	2	前期	2	講義30時間	東町

担当教員	志村千鶴子、吉田広美、武田智子
授業概要	周産期施設(病院と助産所)における助産業務管理、運営、周産期医療システムの連携機能を学ぶ。また、周産期における医療安全に必要な基本的理論、安全確保体制の整備と事故防止に向けた管理システム及び、事故対応の原則等について学びを深める。
到達目標	1．周産期医療システムの連携機能と医療施設(病院・助産所)における助産業務管理、運営を理解する。 2．周産期施設における安全確保体制の整備と事故防止に向けた管理システム及び、事故対応の実際を知る。 3．病院の助産師活動分野及び助産所運営に必要な資源、人材、経営的視点について考察できる。
履修条件	特になし

授業計画

回	内容	担当教員
1	助産師活動と自律	志村
2	周産期施設における助産業務管理	吉田
3	周産期施設における運営	吉田
4	周産期医療における感染管理と医療安全	志村
5	周産期の保健医療システム	志村
6	周産期の保健医療における連携活動	志村
7	周産期のチーム医療の理論	志村
8	周産期のチーム医療の実際	志村
9	周産期における医療過誤について	志村
10	周産期における医療過誤事例の検討	志村
11	産科医療保障制度の仕組みと分析	志村
12	助産院開業について	武田
13	助産院開業の実際	武田
14	助産所経営	武田
15	助産所における助産業務管理	武田

教科書	特に指定しない
参考書	毎回の授業で、テーマに沿って提示する。
評価方法・基準	・授業に対する準備状況や授業中の発言内容等による評価(30%) ・試験・レポート課題に対する成績(70%)
事前・事後学習	事前学習：周産期施設(病院と助産所)における助産業務管理について課題を提示し、授業でグループ討議ができるよう準備する。 事後学習：授業内容を踏まえ、周産期施設(病院と助産所)における助産業務管理についてレポートを作成し、提出する。